

特集



まちづくり懇談会を 開催しました

11月27日(日)、留萌産業会館におきまして、令和4年度まちづくり懇談会を開催し、市民60人が参加しました。

問 市・政策調整課 TEL 42-1809

1部 市からの情報提供

- ①新型コロナウイルスワクチン接種事業の状況
- ②令和4年度の除排雪体制
- ③学校給食におけるスクールランチの導入
- ④中学校部活動の地域移行
- ⑤モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想
- ⑥JR留萌本線廃線に伴う代替交通

2部 フリーディスカッション

・テーマ「今後のまちづくりについて」

▼第6次留萌市総合計画策定市民会議座長であり、NPO法人留萌スポーツ協会理事長の伊端氏と市長との対談方式による質疑応答後、市民も交えた意見交換を行いました。



伊端座長からの質問（一部抜粋）

Q 今冬、万全の態勢で除排雪を行う決意は？

A 昨年は皆さんにご迷惑をおかけした。やはり、バス路線を確保できなかったということが一番の原因だと思う。今年も大雪になると言われているので、なんとか業者と協力し合って人手不足や重機の不足を解消していきたい。昨冬は国道、道道、市道と被っている業者がいるなど、様々な問題が発生していたため、企業体を組んで解消していく。今後は雪の堆積場を設けてなるべく道路に出さず、溜まったら市に相談をしていただき、その排雪をどうするか検討することが一番理想的なので、今年はいろいろチャレンジしてみたい。

Q 給食センター売却について現状はどうなっているか。

A 現実的な話だと思っていただいて構わない。市としては、企業から提案をいただいて、そこで給食を配送していくのが理想的な方法だと思っている。ただ、学校給食法や学校との関係があるのでそこを整理すること、地元事業者が今までと同じように納入できるようにしていけるか確認することが必要。事業者にとってもメリットが出てくるようにしたい。事業者の頑張り次第になるが、マッチすれば理想的なものになると思う。

Q 部活動の地域移行についての考えは？

A 中体連に参加することを考えると、中学校が単独で出られない状況が非常に残念であり、この地域移行は必要だと思っている。一つの例として卓球があるが、指導する人が見つかって国の事業とのタイミングも合致したため実現できたので、無償ではなく有償ボランティアとしてということと、企業の協力がなくてできない。市の職員を指導者とするならば、国や道から負担してもらわないといけな。積極的に取り組んでいけば、直接、文部科学省に地域の課題解決のために要望をすることが必要である。

Q モンベルの誘致についての考えは？

A キャンプ場を含め、モンベルとマッチングした形のものを作っていきたい。また、来年3月31日にJRが廃線することによる駅周辺の活用方法についても、モンベルの知見が活かされていくと思う。新たな形のものを作っていきたいという固い決意で頑張っていきたい。モンベルの進出は決定しているが、ゾーニング（用途別の区画）についてはまだ決まっていない。

Q JR跡地の周辺整備についての考えは？

A こちらの事業については「まちづくり構想」と言われている。この話が出てきた理由の一つに、市役所庁舎を含む公共施設の耐震化に関する検討があり、現段階では市役所の移設・分散化、社会教育施設、その他の複合施設を検討している。必要なものを選択したいと考えているが、庁舎については、市民にとってどこがいいのか検討が必要であり、また、財政問題などがあって進んでいない。今後は国や道の補助金を確認しながら、収支を皆さんに示したい。

参加者からの質問・意見（一部抜粋）

◎スクールランチについて

Q 給食費の保護者の負担軽減は？

A 当初検討を進めるにあたって現在よりもなるべく負担を減らせるようにと考えていた。今後の状況はまだわからないが、物価高騰が続くのであれば最悪今の価格を守りたい。

Q 撤退も考えられるのでは？

A （市長）留萌よりも小さい地域においては、当市よりも考えていかななくてはならない時代になってくと思う。管内でいうと初山別村が今年からスクールランチを導入しているが、旭川から毎日運ばれてくるもので、やはり事業者としては勝算があって進める事業だと考えている。

（教育長）契約する場合にある程度条件を設けることを考えている。現段階では有償で施設を買っていただくということを考えているが、これがある一定期間の間に継続できなくなる状況になったときは施設を返還していただくような仕組みができないか。あとは業者を選定するにあたってあらかじめ第三者を指定し、万が一選定した業者が継続できなくなった際に、その指定した会社に運営を一定期間お願いする仕組みなどを検討している。

Q 市が責任を持たないということで本当にいいのか。

A スクールランチをやるから一切市が関わらないということではない。献立も含めて市が関わっていくということと、当然売却されてもそれぞれの学校との問題も含めて、市が関わっていく。

◎モンベルについて

Q 撤退も考えられるのでは？

A 撤退後の話をすると事業を進めていけないので、モンベルとして勝算ありということで留萌の事業化を進めている。モンベル側も地域について調査をしたうえでの事業である。

Q 市の財政負担の話が出ているが、それに見合った収入、発展があるのか？

A 今まで公共施設として建てたものが有効に活用されてない現状ということも踏まえ、民間とタッグを組み、公設民営によって、有効活用を本当にしていくことが大事。それに伴う税金について、今後試算をしていく。今の時代、民間とタッグを組めるのであれば、そういう選択肢はあってもいいと思っている。



▲市・ホームページ
QRコード

まちづくり懇談会の開催結果や配布資料については、市ホームページ (https://www.e-rumoi.jp/seisaku/sei_00302.html) でもご覧いただけます。また、まちづくり懇談会当日の様子も動画で配信しておりますので、ぜひご覧ください。

留萌市 まちづくり懇談会

検索

